

新たな「いしかわの水産業振興ビジョン（仮称）」とりまとめ案に対する
ご意見募集の結果について（パブリックコメント）

- 募集期間：平成29年3月10日（金）から平成29年4月10日（月）まで
○寄せられたご意見：4件

No.	意見の内容	左記に対する考え方
目標1 意欲ある人材の確保育成		
1	ハローワークに求人を出しても地元では人が集まらない。県外から移住就業者を受け入れたこともあるが、住居の不足や相談相手がいないことなどから、辞めてしまう人が多いので、受け入れ体制の整備が必要ではないか。	本格的な人口減少時代に突入する中で、漁業就業者の確保は一層厳しくなると認識しています。 新ビジョンでは、新規漁業就業者の確保と定住促進を重点課題としており、移住就業の促進や現地における移住就業者の定住支援に取り組むこととしています。
目標3 ニーズの変化に対応した商品づくりと販路の拡大		
2	石川県にはおいしい水産物が多くあるが、地域のブランドとして知名度が低いように思う。積極的にPRすることが必要ではないか。	新ビジョンでは、四季折々に水揚げされる、地域の特色ある水産物の魅力発信を重点課題としており、ブランド化に意欲のある産地の競争力強化、特色ある県産水産物のさらなるブランド価値の向上に取り組むこととしています。
3	県産魚の取り扱いを増やしたいが、鮮魚やラウンドの凍結だけでは用途が限られる。総菜や刺身向けの加工品・冷凍品の取り扱いを増やしてもらいたい。	新ビジョンでは、需要に応じた供給体制の確立を重点課題としており、鮮魚出荷に加え、冷凍品や加工品の需要にも対応可能な出荷体制の整備を支援することとしています。
目標4 里海資源の持続的な利用促進		
4	サザエやアワビの種苗放流については、小型貝の保護や藻場の保全と併せて実施することが必要かと思う。	新ビジョンでは、天然資源の管理と増殖の推進を重点課題としており、効果的な資源管理手法の普及や稚魚・稚貝の放流とともに、磯根資源の漁場として重要な役割を果たしている藻場の保全や造成等に取り組むこととしています。